

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI ジェンダー・フリー インデックス・ファンド（愛称：ESG・ジェンダー）」は、2022年10月20日に第1期決算を行いました。

当ファンドは、SBI ジェンダー・フリー インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、世界（日本を含む）のジェンダー・フリーに取組む企業で構成される株価指数であるSolactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Index（円換算ベース）に概ね連動する投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第1期末（2022年10月20日）

基準価額	9,714円
純資産総額	50百万円
第1期	
騰落率	△2.9%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI ジェンダー・フリー インデックス・ファンド （愛称：ESG・ジェンダー）

追加型投信／内外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第1期（決算日：2022年10月20日）

作成対象期間（2021年11月10日～2022年10月20日）

 SBI Asset Management

SBI アセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

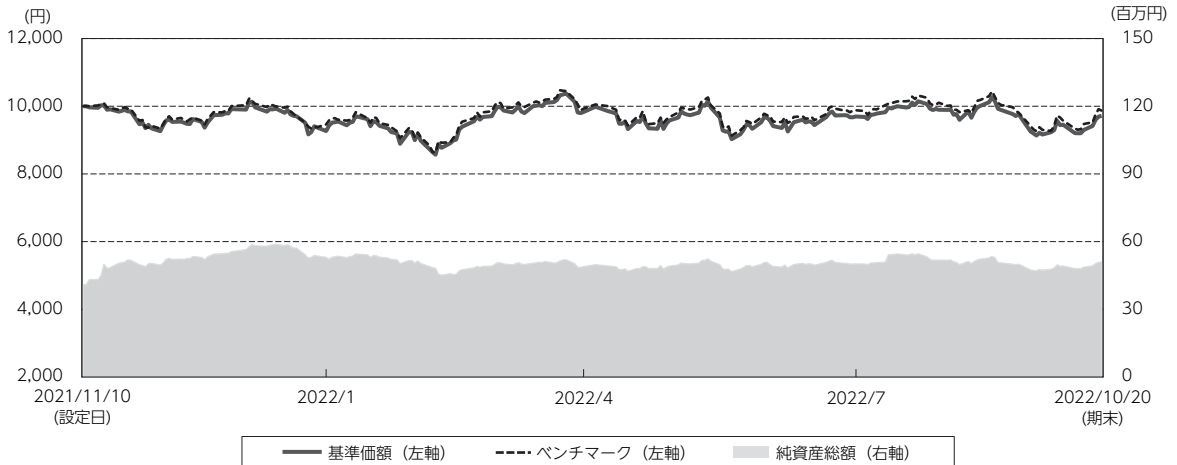
受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2021年11月10日～2022年10月20日)



(注1) ベンチマークは、Solactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Indexを委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、設定日(2021年11月10日)の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

(注4) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米国が金融政策を転換し金利上昇局面に移行したこと、そのような環境下日本が金融緩和策を維持し、金融政策の方向性の違いから円安ドル高が進みました。これは、円建ての基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

- ・米国が金融政策を転換し金利上昇局面に移行したことから、株価水準の見直しが進みました。また、インフレ上昇の弊害、利上げによる景気への悪影響が懸念され株価の押し下げ要因となりました。これが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2021年11月10日~2022年10月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	6 円	0.060 %	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(2)	(0.023)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0.023)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	—	—	(b)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	—	—	(c)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	100	1.040	(d)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(18)	(0.188)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(31)	(0.325)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(51)	(0.527)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	106	1.100	
期中の平均基準価額は、9,613円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

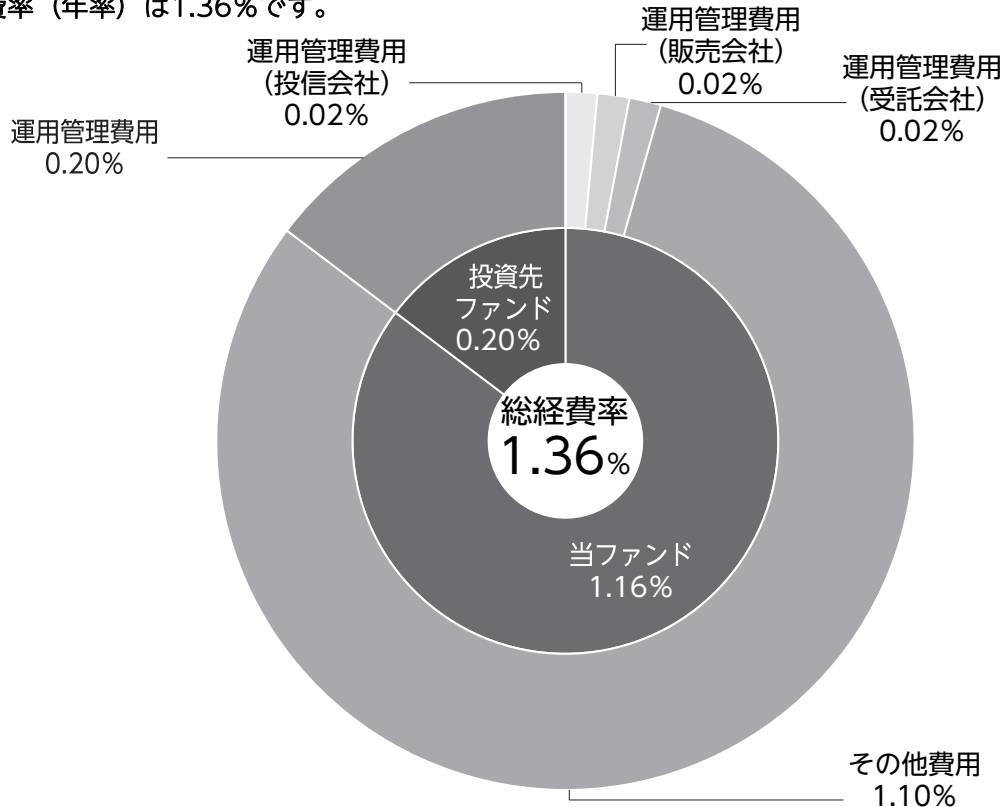
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.36%です。



総経費率 (①+②)	1.36%
①当ファンドの費用の比率	1.16%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.20%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

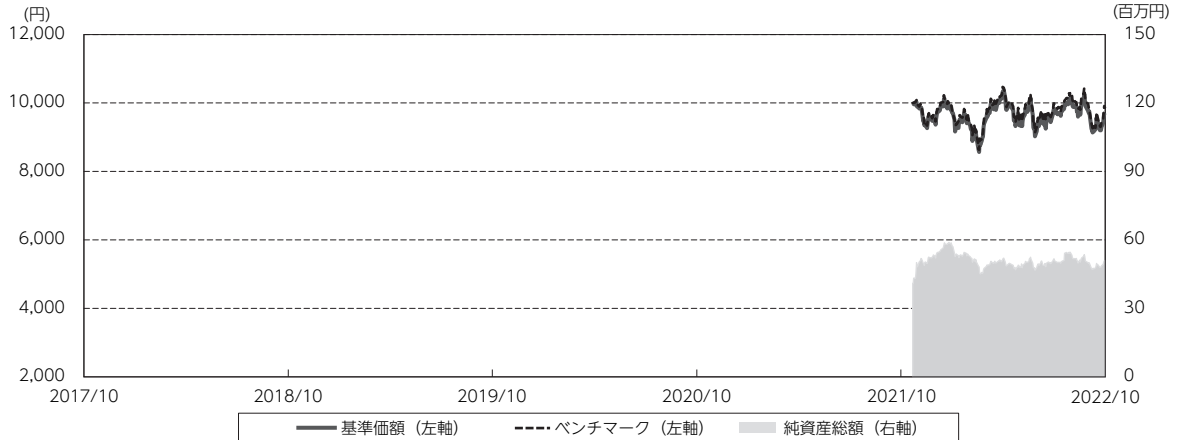
(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2017年10月20日～2022年10月20日)



- (注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2021年11月10日から2022年10月20日)のみの記載となっております。
- (注2) ベンチマークは、Solactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Indexを委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。
- (注3) ベンチマークは、設定日(2021年11月10日)の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。
- (注4) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。
- (注5) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

	2021年11月10日 設定日	2022年10月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,714
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0
基準価額騰落率 (%)	—	△2.9
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△1.4
純資産総額 (百万円)	40	50

- (注1) ベンチマークは、Solactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Indexを委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。
- (注2) ベンチマークは、設定日(2021年11月10日)の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。
- (注3) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。
- (注4) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注5) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2022年10月20日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2021年11月10日~2022年10月20日)

<米国株式市場>

期初、12月頃までは、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締め積極的に中、金利上昇と景気への悪影響が懸念されました。米長期金利はこの間ほぼ横ばいに推移しました。一方、新型コロナウイルス感染再拡大の鎮静化による経済活動再開の力は強く、企業業績の拡大が続きました。このような環境下、市場は上昇し米国のS&P500指数で見て12月末にかけて高値水準を付けました。2022年初来、FRBが金融引き締め策を強化し、3月、5月、6月と連続して利上げを行う中、下落基調となり、6月に当期の安値水準（米ドルベース）を付けました。7月にも利上げが繰り返されました。しかしながら、欧米景気の悪化への懸念や、パウエルFRB議長が、データ次第としながらも金融緩和の可能性を示唆したことなどから、金融引き締めへの懸念が後退し上昇を見せました。8月以降は、FRBがインフレ抑制に向けて利上げ継続姿勢を強調し、米金利が上昇したことを受けて、再び下落基調となりました。9月も大幅な利上げが行われ続落し安値を更新しました。10月に入り、景気、インフレを巡り異なる先行き見通しが交錯するなか横ばいに推移し安値圏で引けました。

<外国為替市場>

当期、米ドル円相場は大きく円安に動きました。期初110円台で始まり、米景気の回復期待が強まるなか米長期金利の上昇が見られ、米連邦準備制度理事会（FRB）のテーパリング（量的緩和の縮小）観測が強まりました。12月には、FRBのテーパリング加速や利上げ開始予想を受けて長期金利上昇圧力が強まりました。一方、米国のオミクロン株による新型コロナウイルスの感染再拡大期（1月にピークをつけたものの高止まり）やウクライナ情勢の緊迫化などによる世界的なリスク回避の動きが見られました。そのため、米長期金利の上昇、米ドル強含みにかかわらず、米ドル相場は概ね横ばいで推移しました。2月24日のロシアのウクライナ侵攻後、米ドルは、リスク回避の動きや、米金利上昇などが交錯し、もみ合いました。しかしながら、3月下旬から、FRBの利上げ開始を受けて、金融引き締めが加速されるとの見方が強まる中、金融緩和を堅持する日銀との金融政策の方向性の違いが意識され大幅に上昇しました。利上げに加えQT（量的引き締め）開始など実施するFRBと日銀の違いが改めて意識され、米ドルは対円で上昇基調となりました。0.75%の大幅利上げを継続するなど金融引き締めを積極化するFRBの動きを受けてドル高円安傾向が続き、150円近辺で期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年11月10日~2022年10月20日)

<当ファンド>

ベンチマークである「Solactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Index (円換算ベース)」に概ね連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるSBI ジェンダー・フリー インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

<SBI ジェンダー・フリー インデックス・マザーファンド>

ベンチマークである「Solactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Index (円換算ベース)」に概ね連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、Amundi Asset Management SASが運用を行う「リクソー グローバル ジェンダー イクオリティETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は96.7%となっております。

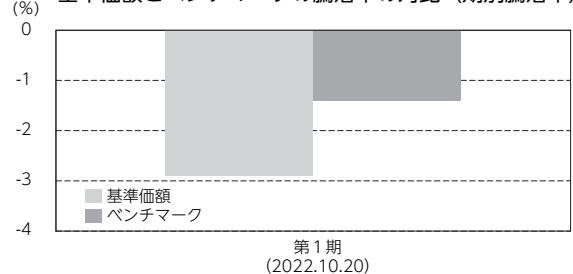
当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年11月10日~2022年10月20日)

期中における基準価額は、2.9%の下落となり、ベンチマークである「Solactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Index (円換算ベース)」の騰落率である△1.4%を概ね1.5%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFのインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、マザーファンドにおける継続的な資金流入に伴う投資先ETFの売買手数料の積み重なり、当ファンドにおける信託報酬等の要因があげられます。

基準価額とベンチマークの騰落率の対比 (期別騰落率)



(注) ベンチマークはSolactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Index (円換算ベース) です。詳細はP12をご参照ください。

分配金

(2021年11月10日~2022年10月20日)

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第1期
	2021年11月10日~ 2022年10月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**<当ファンド>**

引き続き、ベンチマークである「Solactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Index (円換算ベース)」に概ね連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるSBI ジェンダー・フリー インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。また、現金比率を極力抑え連動率を高めていく所存です。

<SBI ジェンダー・フリー インデックス・マザーファンド>

引き続き、「リクソー グローバル ジェンダー イクオリティーETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「Solactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Index (円換算ベース)」に概ね連動する投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

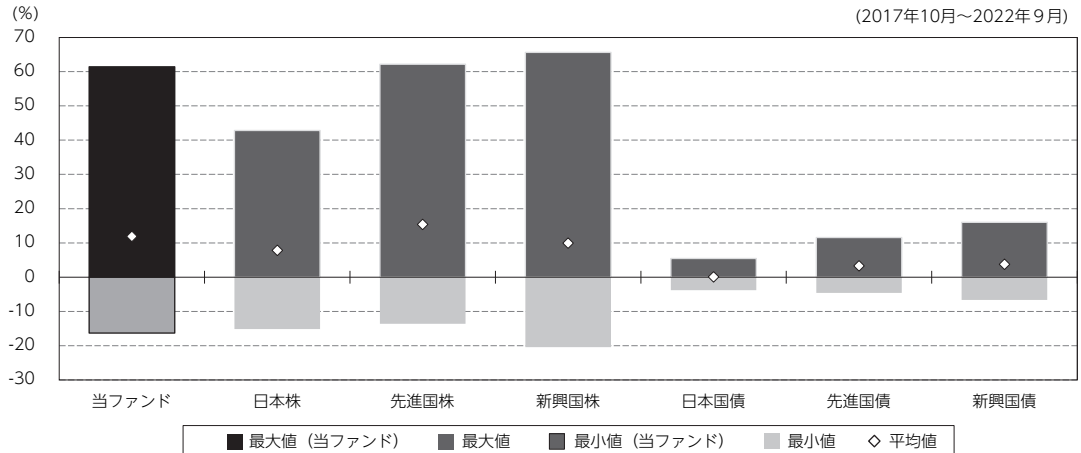
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/内外/株式/インデックス型	
信託期間	無期限 (設定日: 2021年11月10日)	
運用方針	SBI ジェンダー・フリー インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、世界 (日本を含む) のジェンダー・フリーに取組む企業で構成される株価指数であるSolactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Index (円換算ベース) に概ね連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド (ベビーファンド)	SBI ジェンダー・フリー インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF (上場投資信託証券) を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド (ベビーファンド)	SBI ジェンダー・フリー インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、世界 (日本を含む) のジェンダー・フリーに取組む企業で構成される株価指数であるSolactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Index (円換算ベース) に概ね連動する投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF (上場投資信託証券) への投資を通じて、世界 (日本を含む) のジェンダー・フリーに取組む企業で構成される株価指数であるSolactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Index (円換算ベース) に概ね連動する投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回 (毎年10月20日。ただし、休業日の場合は翌営業日) 決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益 (マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額 (以下「みなし配当等収益」といいます。)) を含みます。) および売買益 (評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。) 等の全額とします。収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	61.4	42.8	62.2	65.6	5.5	11.6	16.0
最小値	△ 16.3	△ 15.1	△ 13.6	△ 20.4	△ 3.8	△ 4.6	△ 6.6
平均値	11.9	7.8	15.4	9.9	0.1	3.3	3.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2017年10月から2022年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、直近1年間の騰落率データがないため騰落率の算出はファンドのベンチマーク (円換算) を用いています。したがって、ファンドの実績ではありません。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2022年10月20日現在)

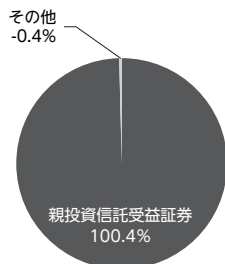
○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
SBI ジェンダー・フリー インデックス・マザーファンド	100.4%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

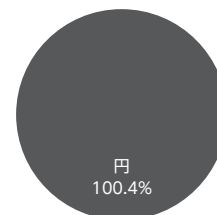
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

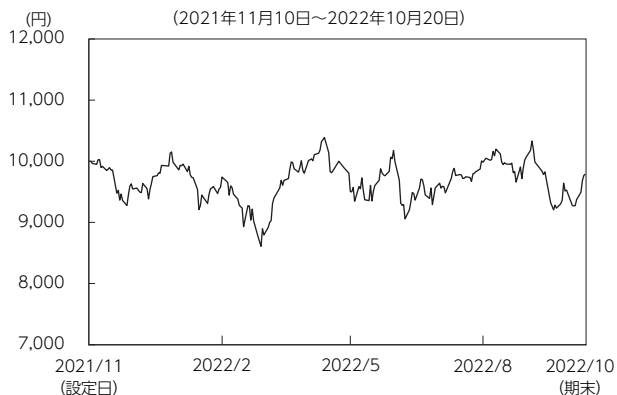
項目	第1期末
	2022年10月20日
純資産総額	50,935,555円
受益権総口数	52,435,399口
1万口当たり基準価額	9,714円

(注) 期中における追加設定元本額は37,608,576円、同解約元本額は26,097,305円です。

組入上位ファンドの概要

SBI ジェンダー・フリー インデックス・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年11月10日～2022年10月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	18円 (18) (0)	0.186% (0.186) (0.000)
合計	18	0.186
平均基準価額は、9,648円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位ファンド】

(2022年10月20日現在)

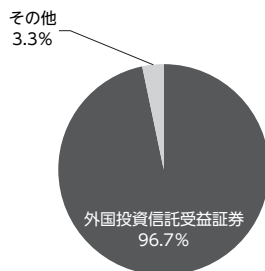
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	LYXOR GLOB GENDER EQL UCITS	投資信託受益証券	米ドル	ルクセンブルグ	96.7%
組入銘柄数			1銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

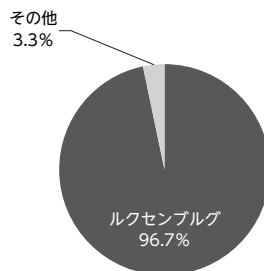
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

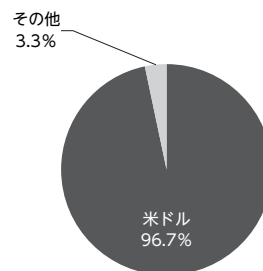
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2022年10月20日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は発行国を表示しております。

<当ファンドのベンチマークについて>

ベンチマークは、Solactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Index (円換算ベース) を委託会社にて円換算しています。

○Solactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Index (円換算ベース)
Solactive Equileap Global Gender Equality Net Total Return Indexとは、世界 (日本を含む) のジェンダー・フリーに取組む企業で構成される株価指数です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含む Morningstar, Inc.が支配する会社 (これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います) が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス (以下「Morningstarインデックス」と言います) の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害 (逸失利益を含む) について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

< 「欧州サステナブルファイナンス開示規制（SFDR）」に基づく分類について >

投資対象ファンドである「リクソー グローバル ジェンダー イクオリティーETF」は、欧州サステナブルファイナンス開示規制（Sustainable Finance Disclosure Requirement、以下「SFDR」）において、第8条に分類されています。

SFDRとは金融市場参加者における持続可能性に関するルールを標準化することにより、持続可能性に係るリスク評価の透明性を高めることを目的としたもので、最終投資家が金融商品を比較しやすくすることで、「グリーンウォッシング（環境に配慮しているように装うこと）」を防止することも目的の一つとされています。2021年3月より、EU（欧州連合）で新たに導入されたもので、金融機関においてはサステナブル特性に基づき、運用するファンドを第6条、第8条、第9条の3つのカテゴリーに分類し、当該カテゴリー条件の遵守やその定期報告等が求められるようになりました。

本ファンドは、SOLACTIVE AG（以下「SOLACTIVE」）、その関連会社（総称して「SOLACTIVE 当事者」）が支援、保証、売却または宣伝するものではありません。SOLACTIVE INDEXは、SOLACTIVEの専有財産です。SOLACTIVEおよびSOLACTIVE INDEXの名称は、SOLACTIVEもしくはその関連会社のサービスマークであり、S B I アセットマネジメント株式会社による特定の目的のための使用について許可されているものです。いかなるSOLACTIVE当事者も、発行会社、本ファンドのオーナー、またはその他の個人もしくは事業体に対して、ファンド投資一般、本ファンドへの投資、もしくはSOLACTIVE INDEXが対応する株式市場パフォーマンスを記録する能力に関して、明示・黙示を問わず一切の表明または保証を行いません。SOLACTIVEは、SOLACTIVEが信頼できると考える情報源からSOLACTIVE INDEXの算出に使用するための情報を入手するものとしますが、いずれのSOLACTIVE当事者も、SOLACTIVE INDEXまたはそのデータの独創性、正確性、完全性について一切保証しません。SOLACTIVE当事者は、発行会社、ファンドのオーナー、その他の個人もしくは事業体がSOLACTIVE INDEXもしくはそのデータを使用して得る情報またはその結果に関して、明示・黙示の保証をしません。